

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ユニマツそよ風

コード番号 9707 URL <http://www.unimat-soyokaze.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 信義

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 小野 吉広

TEL 03-5413-8228

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,615	—	913	—	813	—	546	—
24年3月期第2四半期	15,939	14.1	1,032	9.7	923	35.4	799	11.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 442百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 822百万円 (6.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	63.72	—
24年3月期第2四半期	93.12	—

(注) 平成24年3月期より決算期(事業年度の末日)を5月31日より3月31日に変更しております。これに伴い、平成25年3月期第2四半期(4月1日から9月30日)と、比較の対象となる平成24年3月期第2四半期(6月1日から11月30日)の月度が異なるため、平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	34,296	10,168	29.6	1,185.08
24年3月期	33,029	10,134	29.7	1,144.38

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 10,168百万円 24年3月期 9,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,200	—	1,800	—	1,520	—	1,120	—	130.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年11月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。平成24年3月期は決算期(事業年度の末日)の変更の経過期間であるため、平成23年6月1日から平成24年3月31日の10ヶ月決算となります。これに伴い平成25年3月期の連結業績予想の通期の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 5社 (社名)
株式会社日本メディケアサポート、株式会社クラシック・コミュニティ、アクティバ株式会社、株式会社メープルヴィラ、株式会社そよ風九州
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	8,598,912 株	24年3月期	8,598,912 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	18,840 株	24年3月期	18,761 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	8,580,104 株	24年3月期2Q	8,580,369 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会資料の入手方法)

当社は、平成24年11月22日(木)にアナリスト及び機関投資家向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(3) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(6) セグメント情報等	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の企業生産活動や個人消費は緩やかな回復傾向を見ているものの、欧州債務危機による世界経済の混乱、円高の持続等が影響し、先行きが依然として不透明な状況の中で推移しました。

介護業界の状況としては、団塊世代の高齢化によって、今年9月の速報値で65歳以上高齢者人口が3千万人を超えたといわれており、介護サービスの需要拡大に向けたサービス供給体制の整備がいよいよ急務になっております。また、24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの創設等を定めた改正介護保険法が4月に施行され、在宅重視の介護サービスの方針を強める同制度のもとで、既存のサービスの供給体制の修正、転換を含めた対策が業界各社に求められております。

このような環境の中で当社グループは、地域の皆様に「大丈夫！そよ風があるから」と言っていただける、信頼と安心の介護サービスを提供することをスローガンに掲げ、「ケアセンターそよ風」の施設整備とサービスの品質向上に注力してまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、介護拠点の新設展開を推進し、新たに11施設を開業いたしました。一方、既存の介護拠点については、訪問介護事業の再整備、デイサービスの日曜営業開始等、機能の充実及び強化に取り組んでまいりました。

また、当社は、平成24年7月1日付で連結子会社5社を吸収合併、同じく6月30日付で連結子会社1社から事業譲受をそれぞれ実施いたしました。これにより、当社は当第2四半期連結会計期間末時点で、介護拠点221施設、職員数は8千名に達し、全社一体となって、さらなる成長を期す運営体制に移行いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は186億1千5百万円、営業利益は9億1千3百万円、経常利益は8億1千3百万円、四半期純利益は5億4千6百万円となりました。

なお、当社は前連結会計年度（平成24年3月期）より決算期を5月31日から3月31日に変更しており、平成25年3月期第2四半期（4月1日から9月30日）と、比較対象となる平成24年3月期第2四半期（6月1日から11月30日）の月度が異なるため、平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。

事業の種類別セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

[介護事業]

介護事業におきましては、当第2四半期連結累計期間において、高齢者複合介護施設「ケアセンターそよ風」を11か所新規開設したほか、連結子会社との吸収合併及び事業譲受による経営統合により、平成24年9月30日現在、「ケアセンターそよ風」は、直営で221拠点、FC施設1拠点の合計222拠点となりました。

サービス強化への取り組みとして、レクリエーションに「学び」の精神を取り入れた高齢者生涯学習文化教室「そよ風ルネッサ」の拡充を図るとともに、教育研修委員会主催による社内研修の実施により、職員の知識、スキルの向上を図っております。さらに、地域の皆様の在宅介護サービスに対するニーズに応えるべく、訪問介護のサービス提供体制の強化や、デイサービスの日曜日営業等の取り組みを積極的に推進し、「ケアセンターそよ風」の一層の機能充実・強化を図っております。

また、当第2四半期連結累計期間において新規開設した介護拠点11施設は、開設前後の支援体制強化に注力したことにより、順調なスタートを切っております。

これらの施策を含め、地域の皆様により多くのご利用をいただけるよう、施設稼働率向上に努めた結果、介護サービスにおける利用者数および稼働率はいずれも順調に推移し、売上高は184億1千万円、営業利益は13億8千2百万円となりました。

[その他の事業]

シニア向けマンション事業におきましては、継続的な営業活動の実施や幅広い顧客ニーズに対応できる施設運営を推進し、順調に推移しております。売上高は3億6千万円、営業利益は6千3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末につきましては、総資産342億9千6百万円（前連結会計年度末比12億6千6百万円増）となりました。これは主に、固定資産の購入、借入金の返済による現金及び預金の減少及びリース資産の計上に伴う増加によるものです。また負債については主に、長期借入金の返済による減少及びリース債務の計上により241億2千8百万円（前連結会計年度末比12億3千2百万円増）となり、純資産は主に四半期純利益の計上、その他投資有価証券評価差額の減少及び少数株主持分の減少により101億6千8百万円（前連結会計年度末比3千3百万円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ

て11億6千9百万円減少し、30億2千3百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得た資金は3億4千5百万円(前年同期は11億8千9百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益7億5千万円、減価償却費4億7千9百万円、売上債権の増加3億9百万円、法人税等の支払額2億1千9百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は8億9千5百万円(前年同期は3億2千1百万円の収入)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出6億7百万円、合併交付金の支払2億4千5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は6億1千9百万円(前年同期は4億8千7百万円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出5億9千3百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年11月12日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年7月1日付で当社を存続会社とし、株式会社日本メディアケアサポート、株式会社クラシック・コミュニティ、アクティバ株式会社、株式会社メープルヴィラ及び株式会社そよ風九州を消滅会社とする吸収合併をおこなったため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更

(耐用年数の変更)

京都ケアセンターそよ風の建物付属設備は、当第2四半期連結累計期間において移転しており、利用不能となる資産の耐用年数を移転予定月までの期間に見直しをおこなったため、耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ12,914千円減少しておりますが、税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、セグメントに与える影響については、セグメント情報等に記載しております。

(3) 追加情報

(固定資産の計上基準について)

当社グループは、当連結会計年度より介護施設の新規開設数の増加に伴い、備品等の取引形態の見直しをおこなった結果、所有する備品等が増加し、より厳格な管理をおこなう必要性が生じました。そこで当第2四半期連結累計期間より、固定資産の計上基準について見直しをおこなっております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ46,668千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,329,553	3,150,504
受取手形及び売掛金	4,888,772	5,198,451
商品及び製品	15,269	11,857
原材料及び貯蔵品	25,713	28,998
その他	2,206,489	2,281,208
貸倒引当金	△60,013	△33,562
流動資産合計	11,405,784	10,637,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,781,896	9,800,597
土地	3,054,016	3,128,436
リース資産(純額)	2,758,533	4,829,153
その他(純額)	485,910	532,407
有形固定資産合計	16,080,356	18,290,594
無形固定資産		
のれん	567,676	507,624
その他	237,240	262,647
無形固定資産合計	804,917	770,271
投資その他の資産		
差入保証金	2,166,349	2,024,076
その他	5,221,364	4,993,829
貸倒引当金	△2,649,285	△2,420,104
投資その他の資産合計	4,738,428	4,597,800
固定資産合計	21,623,702	23,658,666
資産合計	33,029,486	34,296,124
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	566,850	601,960
短期借入金	3,000,000	3,010,000
1年内返済予定の長期借入金	1,160,756	1,174,556
リース債務	85,037	129,570
未払法人税等	265,758	170,647
賞与引当金	574,725	530,023
その他	3,293,299	2,892,205
流動負債合計	8,946,427	8,508,963
固定負債		
長期借入金	7,148,281	6,740,903
リース債務	2,820,874	5,080,501
長期預り保証金	2,981,963	2,736,808
退職給付引当金	653,280	719,496
役員退職慰労引当金	29,615	28,320
債務保証損失引当金	22,014	19,542
その他	292,883	293,540
固定負債合計	13,948,913	15,619,111
負債合計	22,895,340	24,128,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,479,068	8,479,068
利益剰余金	1,243,477	1,704,432
自己株式	△146,812	△146,871
株主資本合計	9,575,734	10,036,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243,183	131,420
その他の包括利益累計額合計	243,183	131,420
少数株主持分	315,228	—
純資産合計	10,134,145	10,168,049
負債純資産合計	33,029,486	34,296,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	15,939,087	18,615,609
売上原価	13,937,420	16,508,183
売上総利益	2,001,667	2,107,426
販売費及び一般管理費	968,954	1,194,350
営業利益	1,032,713	913,076
営業外収益		
受取利息	4,414	4,801
受取配当金	6,052	11,122
貸倒引当金戻入額	100,442	98,871
賞与引当金戻入額	—	72,664
交付金収入	266,516	3,275
その他	46,664	39,676
営業外収益合計	424,089	230,411
営業外費用		
支払利息	185,010	243,329
交付金特別手当	266,630	633
その他	82,001	86,175
営業外費用合計	533,642	330,138
経常利益	923,160	813,349
特別利益		
固定資産売却益	28,381	—
補助金収入	34,817	63,204
負ののれん発生益	—	42,365
その他	118	—
特別利益合計	63,317	105,570
特別損失		
固定資産売却損	40,238	—
固定資産除却損	21,894	80,127
固定資産圧縮損	34,567	63,204
繰延消費税償却	—	25,233
その他	1,185	50
特別損失合計	97,884	168,614
税金等調整前四半期純利益	888,593	750,304
法人税、住民税及び事業税	90,539	130,751
法人税等還付税額	—	△53,408
法人税等調整額	△946	119,068
法人税等合計	89,592	196,411
少数株主損益調整前四半期純利益	799,000	553,892
少数株主利益	—	7,137
四半期純利益	799,000	546,755

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	799,000	553,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,625	△111,762
その他の包括利益合計	23,625	△111,762
四半期包括利益	822,626	442,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	822,626	434,993
少数株主に係る四半期包括利益	—	7,137

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	888,593	750,304
減価償却費	352,533	479,269
のれん償却額	19,264	59,357
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△99,245	△95,781
賞与引当金の増減額(△は減少)	173,921	△44,702
退職給付引当金の増減額(△は減少)	54,823	66,215
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△13,518	△2,472
受取利息及び受取配当金	△10,466	△15,923
支払利息	185,010	243,329
有形固定資産売却損益(△は益)	11,856	—
固定資産除却損	—	80,127
固定資産圧縮損	34,567	63,204
補助金収入	△34,817	△63,204
負ののれん発生益	—	△42,365
売上債権の増減額(△は増加)	△87,245	△309,969
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,717	126
仕入債務の増減額(△は減少)	66,415	42,733
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,089	△18,822
預り保証金の増減額(△は減少)	△168,943	△322,499
未払費用の増減額(△は減少)	87,552	△140,983
その他	49,157	68,400
小計	1,518,267	796,343
利息及び配当金の受取額	13,625	16,182
利息の支払額	△193,336	△247,329
法人税等の支払額	△148,743	△219,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,189,813	345,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	13,500	10,000
有形固定資産の取得による支出	△109,719	△607,092
有形固定資産の売却による収入	220,481	—
投資有価証券の取得による支出	—	△70,000
無形固定資産の取得による支出	△13,940	△39,758
補助金の受取額	31,838	74,215
合併交付金の支払	—	△245,000
事業譲受による支出	—	△76,141
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△600	—
貸付けによる支出	—	△960
貸付金の回収による収入	11,255	12,770
その他	168,413	46,433
投資活動によるキャッシュ・フロー	321,229	△895,533

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	10,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△358,794	△593,578
自己株式の取得による支出	△91	△59
固定資産に係る割賦債務等の返済による支出	△128,526	△151,912
配当金の支払額	—	△83,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△487,411	△619,325
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,023,630	△1,169,049
現金及び現金同等物の期首残高	2,125,548	4,192,960
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	45,046	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,194,225	3,023,911

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	介護事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	15,718,935	15,718,935	220,151	15,939,087	—	15,939,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,577	2,577	260,880	263,457	△263,457	—
計	15,721,513	15,721,513	481,031	16,202,545	△263,457	15,939,087
セグメント利益	1,418,941	1,418,941	29,194	1,448,135	△415,422	1,032,713

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、高齢者向けマンション事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△415,422千円には、セグメント間取引消去307千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△415,730千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	介護事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	18,408,824	18,408,824	206,784	18,615,609	—	18,615,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,288	1,288	153,990	155,278	△155,278	—
計	18,410,113	18,410,113	360,774	18,770,888	△155,278	18,615,609
セグメント利益	1,382,810	1,382,810	63,040	1,445,851	△532,774	913,076

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、高齢者向けマンション事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△532,774千円には、セグメント間取引消去1,157千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△533,932千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当第2四半期連結累計期間において一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「介護事業」セグメントで12,914千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

「介護事業」セグメントにおいて、平成24年7月1日付で株式会社日本メディアケアサポートを吸収合併したことにより、負ののれん発生益を計上しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては42,365千円となっております。